

「学習成果」の設定と評価

アカデミック・スキルの育成を手がかりに

第一部<講演>

「学習成果」の設定と評価 —パフォーマンス評価を中心に—
松下 佳代 氏 (京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授)

第二部<事例報告>

「大学学習法」の学習評価実践 —レポート評価に焦点を当てて—
小野 和宏 氏 (新潟大学 歯学部 教授)

大学における「学習成果」の設定と評価には、どのような方法があり得るのか、またどのような方法が有効なのか。本シンポジウムでは、議論の手がかりとして「アカデミック・スキルの育成」に焦点を当て、具体的な目標設定と評価の可能性を探ります。

当日はお二人の講師をお招きし下記のようなテーマでお話しいたします。

- ① 大学で「学習成果」の設定と評価が求められるようになった背景
- ② 「学習成果」の設定・評価の手法である「パフォーマンス評価」(ルーブリックやポートフォリオを用いた評価)の理論と方法
- ③ 「アカデミック・スキル」養成科目における目標設定・評価の実践と成果

以上を踏まえ、本学ファーストタームプログラムの出発を視野に入れて、全体でディスカッションを行います。教職員の皆様のご参加をお待ちしております。

10/23(木)

18:30~20:30

場 所：池袋キャンパス
M301教室(マキムホール3階)
対 象：本学教職員・学生、一般の方

参加申込：本学教職員・学生は不要

一般の方は、①お名前、②ご所属、③連絡先(メールアドレス)を明記の上、下記アドレスまでお申し込みください。定員に達し次第締め切らせて頂きます。cdshe@grp.rikkyo.ne.jp